

2018年4月

日本銀行業務局

日本銀行が外国中央銀行等のために受入を行う預り金に関する事務における 日銀ネット利用先向け電文の設定内容について

- SWIFTが2018年11月に予定しているスタンダード・リリース¹の内容を踏まえ、日本銀行が外国中央銀行等のために受入を行う預り金（以下「海外預り金」といいます。）に関する事務のうち、海外預り金勘定から資金を引き落とすとともに当座勘定への入金を行う取引において、日銀ネット利用先宛に送信する電文（「CUSTOMER TRANSFER (DEPOSITS OF OVERSEAS INSTITUTIONS)」および「BANK TRANSFER (DEPOSITS OF OVERSEAS INSTITUTIONS)」）の設定内容を一部変更することとしました。
- 本変更は、2018年11月19日²より実施する予定です。
- 具体的な設定内容については、下表の顧客送金または金融機関間送金の別（以下「送金種類」といいます。）に応じて、別紙1、別紙2を参照してください。
 - ―― なお、本資料と過去の公表済み資料の内容に相違がある場合には、本資料における記載を優先します。

¹ <https://www.swift.com/standards/standards-releases/mt-release-2018>

² SWIFTによる2018年のスタンダード・リリース実施後、最初の営業日。

送金種類	メッセージ名	設定内容
顧客送金	CUSTOMER TRANSFER (DEPOSITS OF OVERSEAS INSTITUTIONS)	別紙1
金融機関間送金	BANK TRANSFER (DEPOSITS OF OVERSEAS INSTITUTIONS)	別紙2

- 本資料に記載している内容は、SWIFT 電文の項目に関する記載ルールの変更等に伴い、今後、変更される可能性があります。
- 本資料に関してご不明な点やご質問等がございましたら、以下の照会先宛にご連絡ください。

(照会先)

日本銀行 業務局 総務課 営業・国債業務企画グループ

電子メール^(注) post.od25@boj.or.jp

(注) 電子メールの件名は、「日銀ネット外国中銀等関係事務に関する質問の件」と記載してください。

以 上

顧客送金：CUSTOMER TRANSFER(DEPOSITS OF OVERSEAS INSTITUTIONS)

下線部は、Standards MT Release 2018を踏まえた変更

項番	Message Item*1	階層	最大繰返回数*2	設定内容*3	備考	参考 項目：日銀ネット帳票*4
1	業務データルート要素	1	1			
2	メッセージ識別要素	2	1			
3	Document	3	1			
4	Message root	4	1			
5	GroupHeader	5	1			
6	MessageIdentification	6	1	日本銀行が設定する取引番号	外国中央銀行等からの指図に基づき設定する取引番号ではない	
7	CreationDateTime	6	1	“YYYY-MM-DD”（メッセージ作成時の年月日）+ “T” + “HH:MM:SS”（メッセージ作成時の時分秒）		
8	NumberOfTransactions	6	1	“1”		
9	SettlementInformation	6	1			
10	SettlementMethod	7	1	“CLRG”		
11	CreditTransferTransactionInformation	5	1			
12	PaymentIdentification	6	1			
13	InstructionIdentification	7	1	日本銀行が設定する取引番号	外国中央銀行等からの指図に基づき設定する取引番号ではない	[INSTRUCTION ID]
14	EndToEndIdentification	7	1	Tag20に記載された番号		[END TO END ID]
15	TransactionIdentification	7	1	Tag20に記載された番号		[TRANSACTION ID]
16	ClearingSystemReference	7	1	日本銀行が設定する当座勘定取引通番	外国中央銀行等からの指図に基づき設定する取引番号ではない	[CLEARING SYSTEM REF]
17	PaymentTypeInformation	6	1			
18	LocalInstrument	7	1			
19	Proprietary	8	1	Tag121に記載された番号（注5）		
20	InterbankSettlementAmount	6	1	Tag32Aに記載された金額		[AMOUNT]
21	InterbankSettlementDate	6	1	Tag32Aに記載された決済日		[DATE]
22	ChargeBearer	6	1	Tag71Aに記載されたコードに対応するISO20022メッセージのコード		[CHARGE BEARER]
23	PreviousInstructingAgent	6	1			
24	FinancialInstitutionIdentification	7	1			
25	BICFI	8	1	日本銀行に対して入金依頼を行った外国中央銀行等（注1）のBICコード	項番25、26は同時に設定しない	【PREVIOUS INSTRUCTING AGENT】 [BIC]
26	Name	8	1	日本銀行に対して入金依頼を行った外国中央銀行等（注1）がBICコードを保有していない場合には、日本銀行が資金を引き落とす海外預り金勘定の略称	項番25、26は同時に設定しない	
27	PreviousInstructingAgentAccount	6	1			
28	Identification	7	1			
29	Other	8	1			
30	Identification	9	1	日本銀行に対して入金依頼を行った外国中央銀行等の海外預り金勘定のコード		【PREVIOUS INSTRUCTING AGENT ACCOUNT】 [OTHER ID]
31	InstructedAgent	6	1			
32	FinancialInstitutionIdentification	7	1			
33	ClearingSystemMemberIdentification	8	1			
34	MemberIdentification	9	1	利用先の金融機関等店舗コード		
35	IntermediaryAgent1	6	1			
36	FinancialInstitutionIdentification	7	1			
37	BICFI	8	1	Tag56Aに記載されたBICコード	項番37、38は同時に設定しない	【INTERMEDIARY AGENT1】 [BIC]
38	Name	8	1	Tag56Dに記載された名称・住所（注4）	項番37、38は同時に設定しない	【INTERMEDIARY AGENT1】 [NAME]
39	IntermediaryAgent1Account	6	1			
40	Identification	7	1			
41	Other	8	1			
42	Identification	9	1	Tag56aに記載された口座情報等（注2）		【INTERMEDIARY AGENT1 ACCOUNT】 [OTHER ID]
43	Debtor	6	1			
44	Name	7	1	Tag50Fまたは同Kに記載された名称・住所（注4）	項番44、47は同時に設定しない	【DEBTOR】 [NAME]
45	Identification	7	1			
46	OrganisationIdentification	8	1			
47	AnyBIC	9	1	Tag50Aに記載されたBICコード	項番44、47は同時に設定しない 項番47、49は同時に設定しない	【DEBTOR】 [ORGANISATION ID(BIC)]
48	Other	9	1			
49	Identification	10	1	Tag50Fに記載された組織・団体・個人の顧客番号等（注2）	項番47、49は同時に設定しない 項番49、53は同時に設定しない	【DEBTOR】 [ORGANISATION ID(OTHER)]
50	DebtorAccount	6	1			
51	Identification	7	1			

項番	Message Item*1	階層	最大繰返回数*2	設定内容*3	備考	参考 項目：日銀ネット帳票*4
52	Other		8			
53	Identification		9	Tag50aに記載された口座情報等（注2）	項番49、53は同時に設定しない	【DEBTOR ACCOUNT】 【OTHER ID】
54	DebtorAgent		6			
55	FinancialInstitutionIdentification		7			
56	BICFI		8	Tag52aに記載されたBICコード（Tag52aが存在しない場合には、日本銀行に対して入金依頼を行った外国中央銀行等（注1）のBICコード）	項番56、57は同時に設定しない	【DEBTOR AGENT】 【BIC】
57	Name		8	Tag52dに記載された名称・住所（注4）（Tag52aが存在しない場合、かつ日本銀行に対して入金依頼を行った外国中央銀行等（注1）がBICコードを保有していない場合には、日本銀行が資金を引き落とす海外預り金勘定の略称）	項番56、57は同時に設定しない	【DEBTOR AGENT】 【NAME】
58	DebtorAgentAccount		6			
59	Identification		7			
60	Other		8			
61	Identification		9	Tag52aに記載された口座情報等（注2）（Tag52aが存在しない場合には、日本銀行に対して入金依頼を行った外国中央銀行等の海外預り金勘定のコード）		【DEBTOR AGENT ACCOUNT】 【OTHER ID】
62	CreditorAgent		6			
63	FinancialInstitutionIdentification		7			
64	BICFI		8	Tag57aに記載されたBICコード	項番64、65は同時に設定しない	【CREDITOR AGENT】 【BIC】
65	Name		8	Tag57dに記載された名称・住所（注4）（Tag57aが存在しない場合には“NOTPROVIDED”）	項番64、65は同時に設定しない	【CREDITOR AGENT】 【NAME】
66	CreditorAgentAccount		6			
67	Identification		7			
68	Other		8			
69	Identification		9	Tag57aに記載された口座情報等（注2）		【CREDITOR AGENT ACCOUNT】 【OTHER ID】
70	Creditor		6			
71	Name		7	Tag59（No letter option）または同Fに記載された名称・住所（注4）	項番71、74は同時に設定しない	【CREDITOR】 【NAME】
72	Identification		7			
73	OrganisationIdentification		8			
74	AnyBIC		9	Tag59aに記載されたBICコード	項番71、74は同時に設定しない	【CREDITOR】 【ORGANISATION ID(BIC)】
75	CreditorAccount		6			
76	Identification		7			
77	Other		8			
78	Identification		9	Tag59aに記載された口座情報等（注2）		【CREDITOR ACCOUNT】 【OTHER ID】
79	InstructionForNextAgent		6	3		
80	InstructionInformation		7	Tag23B、Tag23E、Tag26T、Tag33B、Tag36、Tag71F、Tag71G、Tag72、Tag77Bに記載された情報	存在するTagを左記の並び順で連続して設定する（注3）	【INSTRUCTION FOR NEXT AGENT】 【INFORMATION】
81	RemittanceInformation		6	1		
82	Unstructured		7	1	Tag70に記載された情報（注4）	【REMITTANCE INFORMATION】

- *1 日本銀行は、本資料に記載している項目のみ使用（設定する情報が存在しない場合には、項目ごと設定しない）。
- 項番17～19、同26、同31～34は「メッセージフォーマット仕様書（コア機能・業務データ編）」（2015年10月公表）において記載を省略（メッセージフォーマット仕様書における記載項目の範囲については、「メッセージフォーマット仕様書（コア機能・業務データ編）」1. 3. (2)ロ. を参照）。
- *2 日本銀行が設定する可能性のある最大繰返し回数（「メッセージフォーマット仕様書（コア機能・業務データ編）」に記載されている最大繰返し可能回数とは必ずしも一致しない）。
- *3 Tagは、外国中央銀行等から受信したSWIFT電文（MT103）のTag番号を示す。Tag、オプションに関する記載ルールはSWIFT Standards MTに準ずる。また、外国中央銀行等より書面等で依頼を受けた場合も同等の情報を設定する。
- *4 利用先に出力される「CUSTOMER TRANSFER (DEPOSITS OF OVERSEAS INSTITUTIONS)」（帳票コード：2330-00100）の項目。

（注1）日本銀行が資金を引き落とす海外預り金勘定の名義人を示す（指図の送信者の情報<SWIFT電文のSender等>とは一致しない場合がある）。

（注2）SWIFT電文中、該当のTagにおけるサブフィールド「Party Identifier」または「Account」に記載された情報を示す。

（注3）具体的な設定方法は以下の通り。

・各Tagについては、「Tag番号」、「オプション」、「コロン（:）」、「Tagに記載された情報」を続けて設定する（「オプション」が存在しない場合には、「Tag番号」の後に「コロン（:）」を続ける）。

・複数のTagが存在する場合には、Tag間に半角スペース（△）を挿入する。

（例）23B:情報△23E:情報△72:情報

（注4）SWIFT電文に記載された情報が1行あたり35文字未満であった場合には、①各行に対して35文字に達するまでスペースを設定したうえ全ての行の文字列を連結し、②連結後の文字列の末尾のスペースをカットし、ISO20022電文として利用先に送信。

（例）SWIFT電文（MT103）のTag99の「Name and Address」に記載された情報をISO20022電文（CUSTOMER TRANSFER (DEPOSITS OF OVERSEAS INSTITUTIONS)）の【CREDITOR】の【NAME】に変換するケース（以下、アルファベットは半角文字を、△は半角スペースを表す）

Tag59の「Name and Address」（1行あたり最大35文字まで入力可能）
 (1行目) AAAAAAAAAAABBBBBBBBBBCCCCCCCCDDDDDD
 (2行目) EEEEEEEEEEFFFFFFFFFGGGGGGGGGG
 (3行目) HHHHHHHHHHHIIIIIIIIJJJJ
 (4行目) KKKKKKKKKLLLLLLLL

↓
 【CREDITOR】の【NAME】（続けて最大140文字まで入力可能）

AAAAAAAAAABBBBBBBBBBCCCCCCCCDDDDDEEEEEEEEEEFFFFFFFFFGGGGGGGGGG△△△△△HHHHHHHHHHIIIIIIIIJJJJ△△△△△△△△KKKKKKKKLLLLLLLL

（注5）ハイフン（-）をカットし、32文字として設定する。

金融機関間送金：BANK TRANSFER (DEPOSITS OF OVERSEAS INSTITUTIONS)

下線部は、Standards MT Release 2018を踏まえた変更

項番	Message Item*1	階層	最大繰返 回数*2	設定内容*3	備考	参考 項目：日銀ネット振票*4
1	業務データルート要素	1	1			
2	メッセージ識別要素	2	1			
3	Document	3	1			
4	Message root	4	1			
5	Groupheader	5	1			
6	MessageIdentification	6	1	日本銀行が設定する取引番号	外国中央銀行等からの指図に基づき設定する取引番号ではない	—
7	CreationDateTime	6	1	“YYYY-MM-DD” (メッセージの作成時の年月日) + “T” + “HH:MM:SS” (メッセージの作成時の時分秒)		—
8	NumberOfTransactions	6	1	“1”		—
9	SettlementInformation	6	1			
10	SettlementMethod	7	1	“CLRG”		—
11	CreditTransferTransactionInformation	5	1			
12	PaymentIdentification	6	1			
13	InstructionIdentification	7	1	日本銀行が設定する取引番号	外国中央銀行等からの指図に基づき設定する取引番号ではない	[INSTRUCTION ID]
14	EndToEndIdentification	7	1	Tag21に記載された番号		[END TO END ID]
15	TransactionIdentification	7	1	Tag20に記載された番号		[TRANSACTION ID]
16	ClearingSystemReference	7	1	日本銀行が設定する当座勘定取引通番	外国中央銀行等からの指図に基づき設定する取引番号ではない	[CLEARING SYSTEM REF]
17	PaymentTypeInformation	6	1			
18	LocalInstrument	7	1			
19	Proprietary	8	1	Tag121に記載された番号 (注6)		—
20	InterbankSettlementAmount	6	1	Tag32Aに記載された金額		[AMOUNT]
21	InterbankSettlementDate	6	1	Tag32Aに記載された決済日		[DATE]
22	PreviousInstructingAgent	6	1			
23	FinancialInstitutionIdentification	7	1			
24	BICFI	8	1	日本銀行に対して入金依頼を行った外国中央銀行等 (注1) のBICコード	項番24、25は同時に設定しない	[PREVIOUS INSTRUCTING AGENT] [BIC]
25	Name	8	1	日本銀行に対して入金依頼を行った外国中央銀行等 (注1) がBICコードを保有していない場合には、日本銀行が資金を引き落とす海外預り金勘定の略称	項番24、25は同時に設定しない	—
26	PreviousInstructingAgentAccount	6	1			
27	Identification	7	1			
28	Other	8	1			
29	Identification	9	1	日本銀行に対して入金依頼を行った外国中央銀行等の海外預り金勘定のコード		[PREVIOUS INSTRUCTING AGENT ACCOUNT] [OTHER ID]
30	InstructedAgent	6	1			
31	FinancialInstitutionIdentification	7	1			
32	ClearingSystemMemberIdentification	8	1			
33	MemberIdentification	9	1	利用先の金融機関等店舗コード		—
34	IntermediaryAgent1	6	1			
35	FinancialInstitutionIdentification	7	1			
36	BICFI	8	1	Tag56Aに記載されたBICコード	項番36、37は同時に設定しない	[INTERMEDIARY AGENT1] [BIC]
37	Name	8	1	Tag56Dに記載された名称・住所 (注4)	項番36、37は同時に設定しない	[INTERMEDIARY AGENT1] [NAME]
38	IntermediaryAgent1Account	6	1			
39	Identification	7	1			
40	Other	8	1			
41	Identification	9	1	Tag56aに記載された口座情報等 (注2)		[INTERMEDIARY AGENT1 ACCOUNT] [OTHER ID]
42	Debtor	6	1			
43	FinancialInstitutionIdentification	7	1			
44	BICFI	8	1	Tag52Aに記載されたBICコード (Tag52aが存在しない場合には、日本銀行に対して入金依頼を行った外国中央銀行等 (注1) のBICコード)	項番44、45は同時に設定しない	[DEBTOR] [BIC]
45	Name	8	1	Tag52Dに記載された名称・住所 (注4) (Tag52aが存在しない場合、かつ日本銀行に対して入金依頼を行った外国中央銀行等 (注1) がBICコードを保有していない場合には、日本銀行が資金を引き落とす海外預り金勘定の略称)	項番44、45は同時に設定しない	[DEBTOR] [NAME]
46	DebtorAccount	6	1			
47	Identification	7	1			
48	Other	8	1			
49	Identification	9	1	Tag52aに記載された口座情報等 (注2) (Tag52aが存在しない場合には、日本銀行に対して入金依頼を行った外国中央銀行等の海外預り金勘定のコード)		[DEBTOR ACCOUNT] [OTHER ID]
50	DebtorAgent	6	1			

項番	Message Item*1	階層	最大繰返回数*2	設定内容*3	備考	参考 項目：日銀ネット帳票*4
51	FinancialInstitutionIdentification		7			
52	BICFI		8	Tag52aが存在する場合には、日本銀行に対して入金依頼を行った外国中央銀行等（注1）のBICコード	項番52、53は同時に設定しない	【DEBTOR AGENT】 [BIC]
53	Name		8	Tag52aが存在する場合、かつ日本銀行に対して入金依頼を行った外国中央銀行等（注1）がBICコードを保有していない場合には、日本銀行が資金を引き落とす海外預り金勘定の略称	項番52、53は同時に設定しない	—
54	DebtorAgentAccount		6			
55	Identification		7			
56	Other		8			
57	Identification		9	Tag52aが存在する場合には、日本銀行に対して入金依頼を行った外国中央銀行等の海外預り金勘定のコード		【DEBTOR AGENT ACCOUNT】 [OTHER ID]
58	CreditorAgent		6			
59	FinancialInstitutionIdentification		7			
60	BICFI		8	Tag57Aに記載されたBICコード	項番60、61は同時に設定しない	【CREDITOR AGENT】 [BIC]
61	Name		8	Tag57Dに記載された名称・住所（注4）	項番60、61は同時に設定しない	【CREDITOR AGENT】 [NAME]
62	CreditorAgentAccount		6			
63	Identification		7			
64	Other		8			
65	Identification		9	Tag57aに記載された口座情報等（注2）		【CREDITOR AGENT ACCOUNT】 [OTHER ID]
66	Creditor		6			
67	FinancialInstitutionIdentification		7			
68	BICFI		8	Tag58Aに記載されたBICコード	項番68、69は同時に設定しない	【CREDITOR】 [BIC]
69	Name		8	Tag58Dに記載された名称・住所（注4）	項番68、69は同時に設定しない	【CREDITOR】 [NAME]
70	CreditorAccount		6			
71	Identification		7			
72	Other		8			
73	Identification		9	Tag58aに記載された口座情報等（注2）		【CREDITOR ACCOUNT】 [OTHER ID]
74	RemittanceInformation		6			
75	Unstructured		7	3 Tag72に記載された情報（注5）		[REMITTANCE INFORMATION]
76	UnderlyingCustomerCreditTransfer		6			
77	Debtor		7			
78	Name		8	Tag50F（Sequence B）または同K（Sequence B）に記載された名称・住所（注4）	項番78、81は同時に設定しない	【UNDERLYING CUSTOMER CREDIT TRANSFER】 【DEBTOR】 [NAME]
79	Identification		8			
80	OrganisationIdentification		9			
81	AnyBIC		10	Tag50A（Sequence B）に記載されたBICコード	項番78、81は同時に設定しない 項番81、83は同時に設定しない	【UNDERLYING CUSTOMER CREDIT TRANSFER】 【DEBTOR】 [ORGANISATION_ID(BIC)]
82	Other		10			
83	Identification		11	Tag50F（Sequence B）に記載された組織・団体・個人の顧客番号等（注2）	項番81、83は同時に設定しない 項番83、87は同時に設定しない	【UNDERLYING CUSTOMER CREDIT TRANSFER】 【DEBTOR】 [ORGANISATION_ID(OTHER)]
84	DebtorAccount		7			
85	Identification		8			
86	Other		9			
87	Identification		10	Tag50a（Sequence B）に記載された口座情報等（注2）	項番83、87は同時に設定しない	【UNDERLYING CUSTOMER CREDIT TRANSFER】 【DEBTOR ACCOUNT】 [OTHER ID]
88	DebtorAgent		7			
89	FinancialInstitutionIdentification		8			
90	BICFI		9	Tag52A（Sequence B）に記載されたBICコード	項番90、93は同時に設定しない	—
91	ClearingSystemMemberIdentification		9			
92	MemberIdentification		10	Tag52a（Sequence B）に記載された口座情報等（注2）		—
93	Name		9	Tag52D（Sequence B）に記載された名称・住所（注4）（Tag52a（Sequence B）が存在しない場合には、“NOTPROVIDED”）	項番90、93は同時に設定しない	—
94	IntermediaryAgent1		7			
95	FinancialInstitutionIdentification		8			
96	BICFI		9	Tag56A（Sequence B）に記載されたBICコード	項番96、97は同時に設定しない	—
97	Name		9	Tag56D（Sequence B）に記載された名称・住所（注4）	項番96、97は同時に設定しない	—
98	IntermediaryAgent1Account		7			
99	Identification		8			
100	Other		9			
101	Identification		10	Tag56a（Sequence B）に記載された口座情報等（注2）		—
102	CreditorAgent		7			
103	FinancialInstitutionIdentification		8			

項番	Message Item*1	階層	最大繰返回数*2	設定内容*3	備考	参考 項目：日銀ネット帳票*4
104	BICFI		9	1 Tag57A (Sequence B) に記載されたBICコード	項番104、107は同時に設定しない	—
105	ClearingSystemMemberIdentification		9	1		
106	MemberIdentification		10	1 Tag57a (Sequence B) に記載された口座情報等 (注2)		—
107	Name		9	1 Tag57D (Sequence B) に記載された名称・住所 (注4) (Tag57a (Sequence B) が存在しない場合には、“NOTPROVIDED”)	項番104、107は同時に設定しない	—
108	Creditor		7	1		
109	Name		8	1 Tag59 (No letter option) (Sequence B) または同F (Sequence B) に記載された名称・住所 (注4)	項番109、112は同時に設定しない	【UNDERLYING CUSTOMER CREDIT TRANSFER】 【CREDITOR】 【NAME】
110	Identification		8	1		
111	OrganisationIdentification		9	1		
112	AnyBIC		10	1 Tag59a (Sequence B) に記載されたBICコード	項番109、112は同時に設定しない	【UNDERLYING CUSTOMER CREDIT TRANSFER】 【CREDITOR】 【ORGANISATION ID(BIC)】
113	CreditorAccount		7	1		
114	Identification		8	1		
115	Other		9	1		
116	Identification		10	1 Tag59a (Sequence B) に記載された口座情報等 (注2)		【UNDERLYING CUSTOMER CREDIT TRANSFER】 【CREDITOR ACCOUNT】 【OTHER ID】
117	RemittanceInformation		7	1		
118	Unstructured		8	3 Tag70、Tag72、Tag33B (いずれもSequence B) に記載された情報	存在するTagを左記の並び順で連続して設定する (注3)	【UNDERLYING CUSTOMER CREDIT TRANSFER】 【REMITTANCE INFORMATION】

- *1 日本銀行は、本資料に記載している項目のみ使用 (設定する情報が存在しない場合には、項目ごと設定しない)。
 — 項番17～19、同25、同30～33、同53、同94～101は「メッセージフォーマット仕様書 (コア機能・業務データ編)」 (2015年10月公表) において記載を省略 (メッセージフォーマット仕様書における記載項目の範囲については、「メッセージフォーマット仕様書 (コア機能・業務データ編)」 1. 3. (2)ロ. を参照)。
 *2 日本銀行が設定する可能性のある最大繰返し回数 (「メッセージフォーマット仕様書 (コア機能・業務データ編)」に記載されている最大繰返し可能回数とは必ずしも一致しない)。
 *3 Tagは、外国中央銀行等から受信したSWIFT電文 (MT202、MT202COV) のTag番号を示す。Tag、オプションに関する記載ルールはSWIFT Standards MTに準ずる。また、外国中央銀行等より書面等で依頼を受けた場合も同等の情報を設定する。
 *4 利用先に出力される「BANK TRANSFER (DEPOSITS OF OVERSEAS INSTITUTIONS)」 (帳票コード：2330-00300) の項目。

- (注1) 日本銀行が資金を引き落とす海外預り金勘定の名義人を示す (指図の送信者の情報<SWIFT電文のSender等>とは一致しない場合がある)。
 (注2) SWIFT電文中、該当のTagにおけるサブフィールド「Party Identifier」または「Account」に記載された情報を示す。
 (注3) 具体的な設定方法は以下の通り。
 ・各Tagについては、「Tag番号」、「オプション」、「コロン (:)」、「Tagに記載された情報」を続けて設定する (「オプション」が存在しない場合には、「Tag番号」の後に「コロン (:)」を続ける)。
 ・複数のTagが存在する場合には、Tag間に半角スペース (Δ) を挿入する。
 (例) 70:情報Δ72:情報Δ33B:情報
 (注4) SWIFT電文に記載された情報が1行あたり35文字未満であった場合には、①各行に対して35文字に達するまでスペースを設定し、②連結後の文字列の末尾のスペースをカットし、ISO20022電文として利用先に送信。
 (例) SWIFT電文 (MT202) のTag58Dの「Name and Address」に記載された情報をISO20022電文 (BANK TRANSFER (DEPOSITS OF OVERSEAS INSTITUTIONS)) の【CREDITOR】の【NAME】に変換するケース (以下、アルファベットは半角文字を、Δは半角スペースを表す)
 Tag58Dの「Name and Address」 (1行あたり最大35文字まで入力可能)
 (1行目) AAAAAAAAAABBBBBBBBBBCCCCCCCCDDDDDD
 (2行目) EEEEEEEEEFFFFFFFFFFGGGGGGGGGG
 (3行目) HHHHHHHHHIIIIIIIIJJJJ
 (4行目) KKKKKKKKKLLLLLLLLLLLLLLLLLLLL
 ↓
 【CREDITOR】の【NAME】 (続けて最大140文字まで入力可能)
 AAAAAAAAAABBBBBBBBBBCCCCCCCCDDDDDEEEEEEEEEFFFFFFFFFFGGGGGGGGGGΔΔΔΔΔHHHHHHHHHHIIIIIIIIJJJJΔΔΔΔΔΔΔΔΔKKKKKKKKKKLLLLLLLLLLLLLLLLLLLL
- (注5) Tag72が存在する場合には、「Tag番号 (72)」、「コロン (:)」、「Tag72に記載された情報」を続けて設定する。
 (注6) ハイフン (-) をカットし、32文字として設定する。